

日本光学会平成 15 年度第 171 回幹事会議事録

日 時： 2004 年 1 月 16 日（金） 13：30～17：00

場 所： 機械振興会館地下 3 階 研修 1 号室

出席者： 山本幹事長，ほか 47 名

議 事：

1. 前回議事録に関する質問事項

- ・ 前回議事録に関する質問はなく，承認された。

2. 報告事項

2-1. 編集委員会関連報告

(1) 「光学」編集報告

- ・ 光学出版費用の一覧が提出された。

(2) 「OPTICAL REVIEW」編集報告

- ・ 2003 年は特集が 3 回続いたこともあり，掲載論文数が 2002 年の 2 倍以上となった。

(3) 「OPTICAL REVIEW」出版委員会報告

- ・ Springer 社との契約に関して新契約書(案)等を送付したが，レスポンスはよくない。

2-2. 講演会関連報告

(1) 光学シンポジウム進捗報告

- ・ 6 月 17, 18 日に早稲田大学国際会議場井深大記念ホールにて開催する。
- ・ 雑誌，チラシ，ホームページで案内を出しており，今後は日本光学会メーリングリストを使い，開催前に 2 回案内を出す予定である。
- ・ メーリングリスト使用の件は承認された。
- ・ 予算案についても説明があり承認された。

(2) OPTICS JAPAN 2004 進捗報告

- ・ 現在プランニング中である。

(3) OPTICS JAPAN 2003 結果報告

- ・ 講演件数 275 件，講演参加者 598 人と盛況であった。

(4) カラーフォーラム JAPAN 2003 結果報告

- ・ 2004 年は，11 月 16, 17, 18 日に工学院大学（新宿）にて行う。

(5) 第 37 回光学五学会関西支部連合講演会報告

- ・ 11 月 28 日に大阪市立大学文化交流センターにおいて開催した。盛会であった。

(6) 平成 15 年度関西講演会結果報告

- ・ 12 月 15 日に神戸大学龍川記念交流会館において開催した。盛会であった。

(7) 平成 15 年度北陸信越講演会結果報告

- ・ 11 月 7 日に新潟大学において開催した。活発な質疑応答

が行われ，有意義な講演会であった。

(8) 平成 15 年度名古屋講演会進捗報告

- ・ OPTICS JAPAN と会期が重複しないように，開催日を 2004 年 2 月 27 日（金）に変更した。
- ・ 開催場所は，岡崎国立共同研究機構岡崎コンファレンスセンター小会議室である。

(9) ICO'04 進捗報告

- ・ 概要とプログラム案の説明があった。開催日は 7 月 12～15 日，幕張メッセにてインターオプトと同時開催である。参加目標数 450 人としている。
- ・ ホームページを見て，投稿・参加するよう要請があった。

(10) 2004 光計測シンポジウム

- ・ 日本光学測定器工業会（JOMA）主催であるが，能開大石井先生に実行委員に加わってもらえることとなった。現在講演を募集中である。

2-3. その他報告事項

(1) 幹事選挙結果報告

- ・ 12 月 11 日開票を行い，幹事会推薦候補者全員が当選となった。

(2) 光学論文賞結果報告

- ・ 14 件の応募があり，優秀な論文が多かった。規定により下記 2 名を選考した。

名古屋大学大学院工学系研究科量子工学専攻 西澤典彦氏

東京工業大学精密工学研究所 宮本智之氏

(3) 協賛依頼について

- ・ 8 件の共催依頼があり，全件承認された。

(4) 会員動静

- ・ 応用物理学会および分科会の会員動静が報告された。

(5) OJ のあり方検討ワーキンググループ報告

- ・ ワーキンググループで 7 項目の方針を決め OJ 2003 で試行したところ，ある程度の成果が得られた。
- ・ 開催地については，会員の地域分布に応じ，2004 年は大阪，2005 年は関東，2006 年はその他地域，2007 年は関東とし，以下このローテーションを繰り返すこととする。
- ・ 本ワーキンググループは解散する。

(6) 環境改善委員会報告

- ・ 応用物理学会将来構想検討ワーキンググループへ出した要望（ソサイアティ制検討の要請）説明とワーキンググループ報告案（ワーキンググループ第一報）に関する報告（時間がなくソサイアティ制が検討されなかった）が

あった。

(7) 産学官連携委員会の活動報告

・委員長は山本幹事長である。ワーキンググループ1, 2, 3で構成され、それぞれリーダーを決め活動を開始したところである。

(8) 応用物理学会研究活性化支援金の内規について

・本年より内規が変更されたとの報告があった。

(9) 応用物理学会会員データベースシステムについて

・応用物理学会では老朽化した会員データベースシステムを新システムに移行することを検討中であり、2005年1月に運用開始予定である。各分科会へのヒアリングがあり、日本光学会からも要望を出した。

(10) その他

・現幹事と来年度幹事の出席者全員で自己紹介を行った。

3. 審議事項

(1) 次期幹事役職決定

・山本現幹事長から東大黒田教授を次期幹事長に推薦したいとの発言があり、2004年度幹事により投票を行った。投票結果は、黒田教授が賛成多数で次期幹事長に決定した。

・山本現幹事長より次期役職案が提出され、承認された。

(2) 予算案審議

・平成16年度予算が示され承認された。この件は前回常任幹事会でも承認されている。

(3) 光学論文賞の規定改訂について

・応用物理学会の賞であり、12月20日ごろ開催の応用物理学会理事会への報告が必須であるとの指摘を受け、論文賞選出の日程を1月上旬から12月中旬へ改訂する。承認は1月の幹事会では間に合わないので電子メールでの報告としたいとの話があり、この件は了承された。

・応募論文の条件について、1年ではオリジナリティーはあるが価値評価ができないので、過去1年ではなく過去3年の論文とするよう改訂しては、との意見が出された。これに関しては、現状のままとし検討はしないこととなった。

(4) 平成16年度活動計画(案)

・幹事会、講演会等の年間行事日程が示された。

(5) 産学官連携委員会規則について

・規則案の説明があり、承認された。

(6) ICOSNの今後およびSPIEとの契約延長について

・ワーキンググループを発足させて、2005年以降の開催形態、開催年月、組織について具体的方針を提案し幹事会にはかりたいとの意見が出され、承認された。

・ODFが偶数年に開催されるので奇数年に開催してほしいとの意見等が出たが、開催の基本方針については運営企画委員会でも検討課題とすることになった。

いた。

(7) 男女共同参画について

・男女共同参画についての活動状況報告があった。

(8) 幹事住所録

・訂正、変更などあったら庶務幹事か事務局に連絡するよう要請があった。

(9) その他

・応用物理学会より応用物理学会スクールに関して提案があれば出してくださいとのことであったが、日本光学会からの提案はしないことになった。

### 平成15年度第3回常任幹事会

2004年3月12日(金)に応用物理学会会議室において開催されました。「光学」「OR」の編集委員会報告、第30回冬期講習会、名古屋講演会、光学シンポジウム、Optics Japan 2004、サマーセミナーの報告がなされました。また、協賛依頼、会員動静、研究グループ活動、環境改善委員会、企画運営委員会、将来計画委員会、会計等について報告がなされました。さらに、総会資料、研究グループ補助金申請、ORオンライン版出版企画等について審議がなされました。なお、詳しい幹事会議事録は第33巻第7号に掲載予定です。

### 平成15年度総会

平成15年度総会は、2004年3月29日(月)に東京工科大学において開催されました。まず、山本公明幹事長より幹事長挨拶が行われたのち、今年度の動向についての説明がありました。

・Optical ReviewのVol.10は、Vol.9の倍の掲載論文数となった。電子出版に関しては、Springer社との契約問題に決着がつかず、先送りとなってしまった。

・光学シンポジウムは約406名の参加者があり、たいへん盛況であった。

・サマーセミナーは社会人からの要望もあり1泊2日の開催とした。

・Optics Japanは初めての試みとして、展示会の併設、プレナリー講演の無料公開を行った。これらの効果も相まって、684名という過去最高の参加者を得ることができた。また、光産業技術振興協会との共催で、「光とバイオ、光と医療」と題する講演会を開き、193名の参加者を得ることができた。

・国際会議として今年7月に開かれるICOの準備を進めている。

- ・前年度から準備を進めていた日本光学会事務局が、光学資料室の一角において実質的な活動を始めた。
- ・選挙運営ワーキンググループの答申に従った幹事選挙を行った。
- ・産学官連携委員会を設置し活動を始めた。長期的事業として展開していく予定である。

続いて、川田庶務幹事より平成15年度事業報告および平成16年度事業計画、田中会計幹事より平成15年度決算報告および平成16年度予算案が提示され、承認されました。最後に、来年度より新幹事長となる東京大学黒田和男教授の紹介がありました。

総会に先立ち平成15年度光学論文賞授賞式が行われ、西澤典彦氏（名古屋大学）と宮本智之氏（東京工業大学）が受賞されました。総会終了後、西澤、宮本両氏による光学論文賞授賞記念講演が行われました。

なお、日本光学会の平成15年度事業および平成16年度の計画などに関する情報は、第7号の「日本光学会平成15年度年次報告」の中に詳細が掲載される予定です。

### 第214回「光学」編集委員会

2004年3月11日（木）に、応用物理学会会議室において開催されました。第33巻第11、12号企画、第34巻第1～5号構想案および第34巻第6、7号担当について審議が行われました。また、論文投稿・審査状況、第33巻第2、3号発刊後の反省、第33巻4～7号の進捗状況についての報告、会計および幹事会の報告がなされました。さらに、飛び込み解説記事、光科学及び光技術調査委員会の活動および次期編集委員会の構成についての報告、審議もなされました。

### 臨時「光学」編集委員会

2004年3月29日（月）に、東京工科大学講義棟C2F-209教室において開催されました。「光学」における学術論文の投稿の活性化、過去に掲載した特集テーマの出版や光応用技術の教科書の出版等について議論しました。

### 第29回光学シンポジウム

期 日：2004年6月17日（木）、18日（金）  
場 所：早稲田大学国際会議場（井深大記念ホール）  
主 催：日本光学会  
参加費：早期申込の場合、日本光学会会員 2,000円、応物・協賛学協会員・賛助会員 4,000円、非会員（一般）6,000円、非会員（学生）1,000円。早期申込みは6月4日（金）までの申し込みに限ります。通常申込みの場合、

日本光学会会員 3,000円、応物・協賛学協会員・賛助会員 5,000円、非会員（一般）7,000円、非会員（学生）1,000円。

申込方法：第33巻第4号に挟み込みの郵便振替用紙をご利用いただくか、当日現金にてお支払いください。

招待講演（順不同、敬称略）：

ビジョンチップとその応用

石川正俊（東京大）

マルチビーム面発光レーザー素子を用いたプリンタ用露光装置—VCSEL ROS—

市川順一（富士ゼロックス）

HD DVD 用光ヘッド技術

片山龍一（NEC）

タマムシはなぜ光る—自然界の構造色の原理とその応用

木下修一（大阪大）

ナノ顕微鏡結像論の試み

鶴田匡夫（ニコン）

ポリマ光導波路デバイスの特性

丸野 透（NTT）

問合せ先：富士写真光機(株)光学設計部 渡部文男

〒331-9624 さいたま市北区植竹町 1-324

電話 048-668-2106 Fax 048-653-2250

E-mail: f-watanabe@msv.fujinon.co.jp

詳細につきましては、日本光学会ホームページ (<http://annex.jsap.or.jp/OSJ/sympo.html>) のシンポジウム案内をご覧ください。

### ICO'04 Tokyo 開催案内

会議名：2004 ICO 国際会議 (ODF'04 と ICOSN'04 の共同開催)

期 日：2004年7月12日（月）～15日（木）

場 所：幕張メッセ（千葉市美浜区）

主 催：日本光学会、ICO (International Commission for Optics)

講演内容：情報光学、ファイバー通信、バイオ・フォトリクス、記憶装置、計測、カメラ、顕微鏡、リソグラフィ、印刷、三次元ディスプレイ等に関する理論、設計、シミュレーション、製造、評価など。

申込方法：下記ホームページにてお申込みください。

登録料（参加費）：2004年6月12日までの登録の場合、会員\*40,000円、一般 45,000円、学生 10,000円、追加の予稿集 10,000円。2004年6月12日以降の登録の場合、会員\*45,000円、一般 48,000円、学生 15,000円、追加の予稿集 10,000円。（\*主催学会会員および

協賛学会会員)

詳細問合せ, Advance Program 請求先:

(会社名および住所が変更になりました)

(株)ICS コンベンションデザイン コンベンション営業部 ICO'04 事務局

〒101-8449 東京都千代田区神田錦町 3-24 住友商事神保町ビル 電話 03-3219-3541

E-mail: ico-odf04@ics-inc.co.jp

<http://www.ico-odf04.com/>

### 日本光学会視覚研究グループ研究会

標記研究会を開催します。皆様多数のご参加をお待ちしております。参加費は無料ですが、会場の準備の都合上、参加ご希望の方は、下記連絡先の幹事までご一報ください。テーマ: 視聴覚情報処理とインタフェース&応用システムおよび一般

日時: 2004年5月28日(金) 11:00~17:15 (発表件数の関係で28日の一日開催に変更されました)

場所: 立命館大学びわこ・くさつキャンパスプリズムハウス P105 (滋賀県草津市野路東 1-1-1)

演題:

11:00~12:00

- 1) 線および面補完知覚における大脳皮質低次視覚野活動の解析—fMRI 研究—

番 浩志(京大), 中越明日香(明治鍼灸大), 山本洋紀(京大), 田中忠蔵・梅田雅宏(明治鍼灸大), 江島義道(京大)

- 2) 回転・並進運動手掛かりによる奥行き知覚の解析—fMRI 研究—

山本哲也(京大), 高橋成子(京都市芸大), 山本洋紀・花川 隆・浦山慎一・福山秀直・江島義道(京大)

13:00~15:00

- 3) 赤-緑色対比効果の空間要因と脳活動との関係—fMRI 研究—

近藤あき(京大), 中越明日香(明治鍼灸大), 山本洋紀(京大), 田中忠蔵・恵比須俊彦・梅田雅宏(明治鍼灸大), 江島義道(京大)

- 4) 高速類似画像検索によるヒト手指形状の実時間推定  
星野 聖(筑波大/JST), 谷本貴頌(筑波大), 廣池敦(日立)

- 5) ヒト型ロボットハンドにおける指先つまみ機能の実現

星野 聖(筑波大/JST), 川淵一郎(テック・エキ

スポーツ)

- 6) 野球におけるファールボールの落下点予測について  
高城秀之(詫間電波高専), 福見 稔・赤松則男(徳島大)

15:15~17:15

- 7) 単眼順応後の奥行き運動残効の生起要因  
塩入 諭・田代朋義・矢口博久(千葉大)
- 8) 注意状態の眼球運動に与える影響  
松原和也・金子瑞樹・塩入 諭・矢口博久(千葉大)
- 9) 画像データを用いた絵画の分光反射率復元と色再現—先験情報を用いない試み—

白壁善久・嶋野法之(近畿大)

- 10) 印刷された用紙を使った色 MTF 特性測定方法の開発

行田尚義(福岡工大)

共催: 映像情報メディア学会コンシューマエレクトロニクス研究会, 映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会, 電子情報通信学会ヒューマン情報処理研究会

連絡先: 立命館大学情報理工学部知能情報学科 篠田博之

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

電話/Fax 077-561-2844

E-mail: hshinoda@is.ritsumei.ac.jp

### 第33回光波センシング技術研究会

テーマ: 「環境・安全と光波センシング: 先端および実用化技術を展望する」

期日: 6月3日(木), 4日(金)

場所: 海洋科学技術センター(東京都港区西新橋 1-2-9)

プログラムおよび参加申込みにつきましては, 応用物理学会ホームページ(<http://www.jsap.or.jp/obutsu/branch/group.html>)をご覧ください。

### 第8回光波シンセシス研究会「擬似位相整合 QPM による光波シンセシス」

日時: 2004年6月25日(金) 13:00~16:30

場所(予定): 東京大学山上会館(東京都文京区本郷 7-3-1)

主催: 日本光学会光波シンセシス研究グループ  
プログラム:

- 1) 13:00~13:45 QPM デバイス~その原理と最先端

栗村 直 (物質・材料研究機構)

- 2) 13:45~14:15 分極反転のメカニズムについて  
皆方 誠 (静岡大)
- 3) 14:15~14:45 QPM による短波長 SHG とその応用  
山本和久 (松下電器)
- 4) 14:45~15:00 休憩 (15分)
- 5) 15:00~15:30 QPM による超短光パルスの波長変換とパルス圧縮  
芦原 聡 (東京大)
- 6) 15:30~16:00 QPM の光通信応用  
遊部雅生 (NTT)
- 7) 16:00~16:30 半導体 QPM デバイス  
近藤高志 (東京大)

参加費：一般 3,000 円，学生 1,000 円。ただし日本光学会学生会員は無料。

申込み：不要

問合せ先：東京大学生産技術研究所 志村 努  
〒153-8505 東京都目黒区駒場 4-6-1  
電話 03-5452-6139  
E-mail: shimura@iis.u-tokyo.ac.jp  
<http://qopt.iis.u-tokyo.ac.jp/lws/>

### 「知的画像処理への最先端研究動向」公開セミナー —視覚と画像の新しいビジュアルインタフェースを考える—

日時：2004年6月11日(金) 10:00~16:40  
会場：機械振興会館 6階 6D-1,2号室 (東京都港区芝公園 3-5-8)  
主催：(社)日本オプトメカトロニクス協会，デジタル・イメージング技術部会  
協賛：日本光学会，(社)映像情報メディア学会，(社)日本写真学会，画像電子学会 (順不同)

これまでの画像処理が事務・産業分野の効率化を目指した『モノ』を対象としてきたのに対し，21世紀は『ヒト』を中心とした映像文化にどのような価値を創造できるかを考えていかねばなりません。ヒトが外界から受ける情報の80%以上は視覚を介するといわれています。

本セミナーは，人の初期視覚から知覚処理そして三次元世界の記述・生成・表示に至る『ヒトと画像・映像』とのビジュアルインタフェースを一連の流れとして総合的にとらえる良い機会となり，講師の先生方は，いずれもこの分野の第一線で最先端の研究開発をリードされている方々です。21世紀の物理・光学・画像応用分野の開発者に新たな

価値創造の一助になるものと期待します。

プログラム：

- ・視覚と画像—人は何を視ているのか—
- ・3次元知的映像生成処理
- ・多視点画像からの自由視点映像の生成と提示
- ・人の情動を視て伝えるメディア
- ・コンピュータビジョンによる色彩画像再現

参加費：1名につき (テキスト・消費税を含む)

一般 25,515 円，正会員 15,330 円，賛助・協賛会員 19,425 円，学生 4,095 円

定員：75名

申込期限：2004年6月4日(金)

問合せ先：(社)日本オプトメカトロニクス協会

電話 03-3435-9321 Fax 03-3435-9567

E-mail: info@joem.or.jp

<http://www.joem.or.jp>

### 液晶フォトンクス・光デバイス研究フォーラム講演会

題名：基礎講座「液晶光学素子の新展開と実用化技術」

日時：2004年6月25日(金) 13:00~18:30

会場：東京理科大学森戸記念館 (東京都新宿区神楽坂 1-3)

主催：日本液晶学会

協賛：応用物理学会

プログラム (予定)：

1. 液晶による波面補正素子—光ディスク用ヘッドへの応用—  
岩崎正之 (シチズン時計)
2. 液晶を用いた撮像用光学フィルター—光イメージセンシングへの応用—  
藤掛英夫 (NHK 放送技術研究所)
3. LCOS を用いたピクセル化 VOA (可変光減衰器) 技術—液晶の光通信用デバイスへの応用—  
井出昌史 (シチズン時計)
4. 位相変調 LCSLM による適応波面制御—適応光学への応用—  
井上 卓 (浜松ホトニクス)
5. 液晶空間光変調素子の計測応用  
尾藤洋一 (産業技術総合研究所)
6. 最適波形整形による励起状態の制御—液晶によるフェムト秒パルスの波形制御とその応用—  
和田昭英 (東京工業大)

参加費：液晶学会正会員 4,000 円，非会員 6,000 円，学生会員 1,000 円，学生非会員 2,000 円。当日，会場に

てお支払いください。

申込み連絡先：秋田県立大学システム科学技術学部 能勢  
敏明 〒015-0055 本荘市土谷字海老の口84-4  
電話 0184-27-2106 Fax 0184-27-2187  
E-mail: t\_nose@akita-pu.ac.jp  
http://www.jlcs.jp/

#### 第42回茅コンファレンス「量子情報処理の物理と技術」

期 日：2004年8月22日(日)～25日(水)  
場 所：宮城蔵王ロイヤルホテル（宮城県刈田郡蔵王町遠刈田温泉字鬼石原1-1）  
主 催：日本学術振興会茅基金運営委員会  
内 容：量子計算・暗号の基本的な考え方や古典計算・暗号との違い、さまざまな量子力学的状態、例えば、半導体中の電子スピンや原子核スピン、超伝導体のクーパ対、分子NMR、冷却原子などを用いた量子計算の基本要素の形成、および単一光子、エンタングル光子対を用いた暗号処理、さらには、関連する量子物性（コヒーレンスの破れ、近藤効果、電子相関など）を中心テーマとします。入門講座（講師：和達三樹、井元信之）および特別講演（講演者：大野英男、清水富士夫）も予定しています。

定 員：120名  
参加費：10,000円  
申込締切：2004年7月22日(木)  
連絡先：東京大学理学部4号館1417室樽茶研究室  
茅コンファレンス事務局 樽茶清悟  
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
電話 03-5841-4533 Fax 03-5841-4162  
E-mail: tarucha@phys.s.u.tokyo.ac.jp  
http://www.brl.ntt.co.jp/event/kayacon/

#### 寄贈書のお知らせ

以下の2冊の図書が寄贈されました。

- 寄贈元：森北出版株式会社  
書名：フォトニック結晶入門  
著者：迫田和彰  
ISBN 4-627-77281-5, A5判232頁, 2004年発行, 本体3,600円+税
- 寄贈元：Springer-Verlag社  
書名：Optical Sensors  
著者：R. Narayanaswamy, O. S. Wolfbeis (Eds.)  
ISBN 3-540-40886-X, 約440頁, 2003年発行, EUR 99.95

日本光学会 *news* の掲載申込み先：

〒243-0198 厚木市森の里若宮3-1 NTT フォトニクス研究所 複合光デバイス研究部  
神原浩久 電話 046-240-3238 Fax 046-240-4526 E-mail: kanbara@aecl.ntt.co.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1～10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

---

日本光学会平成16年度幹事 (\*常任幹事)

幹事長:	黒田 和男* (東大)	
副幹事長:	春名 正光* (大阪大)	小館香椎子* (日本女子大)
前幹事長:	山本 公明 (オリンパス)	岩田 耕一 (大阪府大)
庶務幹事:	大澤日佐雄* (ニコン)	井出 昌史* (シチズン時計)
	平尾 明子* (東芝)	江口 勝* (ペンタックス)
	長濱 博幸* (トプコン)	大友 晋哉* (古河電工)
	神原 浩久* (NTT)	植松 晴子* (東京学芸大)
『光学』編集幹事:	三尾 典克* (東大)	門野 博史 (埼玉大)
	裏 升吾 (京都工繊大)	
『OR』編集・出版幹事:	植田 憲一* (電通大)	一岡 芳樹 (奈良高専)
	高橋 信明 (防衛大)	
国際協力幹事:	富田 康生 (電通大)	大津 元一 (東工大)
	立野 公男 (日立)	
将来問題担当幹事:	岩井 俊昭 (北大)	山崎 章市 (キヤノン)
	辻岡 強 (大阪教育大)	
企画・事業担当幹事:	春名 正光 (大阪大)	小館香椎子 (日本女子大)
	仲間 健一 (日本板硝子)	渡部 文男 (富士写真光機)
	増田 浩二 (リコー)	山下 敦司 (コニカミノルタ)
	鈴木 貞一 (富士ゼロックス)	吉田 慎也 (シャープ)
	宮崎 大介 (大阪市大)	阿山みよし (宇都宮大)
	有本 英伸 (産総研)	佐藤 彰 (コニカミノルタ)
	岡田 英史 (慶応大)	三浦 則明 (北見工大)
	宮城 光信 (東北大)	安達 正明 (金沢大)
	藤原 巧 (長岡技大)	庄司 一郎 (分子研)
	野村 孝徳 (和歌山大)	早崎 芳夫 (徳島大)
	入江 正浩 (九州大)	

---